

財政難…募金呼び掛け

外国人の無料健康相談・検診会

経費60万円めど立たず

静岡市内でボランティアが年1度実施してきた「外国人のための無料健康相談と検診会」が、運営資金難に直面している。静岡厚生病院（同市葵区北番町）の協力を得て、本年度も11月15日に同病院を検診会場に実施する計画が決まったものの、約60万円かかる経費のめどは立っていない。同検診会実行委員会（榎本信雄代表）は市民に広く募金への協力を呼び掛けている。

静岡市内で実行委

実行委の1人は「不況で医療サービスから遠く外国人は確実に増えている。健康をチェックできる機会をなくすわけにいかない」と、検診会継続への理解を求め、運営経費の主な内訳は血液検査代や結果通知の通信費など。実行委は今年、同区呉服町で「ワンコインカンパのお願い」として1口100円の街頭募

金活動を行った。今後募金活動やチャリティーイベントを予定している。同検診会は、「健康保険がない」「言葉が通じない」などの理由で医療を受けていない在住外国人が、今年も12回の受診があり、今回で12回目を数える。市内外の医療従事者や通訳が、ボランティアとして運営に当たってきた。



静岡市葵区

募金やボランティアの問い合わせは、同実行委事務局（電054（209）5682）へ。